

發行所
大阪府立阿倍野高校
新聞部

文化祭

今年何は
化繁が例
年と違つた
九月上旬と
十月上旬の
二つに分け
られる予定
である。ま
た、今まで
見通しの暗
か、長自治
会役員選挙
は、二のほ
と立候補希
望者が数名
現われ、選

例年、二日続きで行わ
れてゐた文化祭が、今年
は約一か月の期間を置い
て、二つに分割されるこ
とになった。まず九日上
旬に一級参加、十月上旬

分割された町らしいとして次のようなことが挙げられる。先ず仕事や重複していたという点。それに今までの文化祭のようにデイスコやおぼけ屋敷のようなお祭り騒ぎに終らせず、今年はおとといのあるものにしたいということである。

では、このように分割された文化祭は、どういった方針で進められるのだろうか。それを決めるために、五月九日に文化部会が開かれ、次のよう
に話し合いがなされた。
まず、金券を使用する
飲食、おぼけ屋敷、デス

は、文化祭の原点である
文化の向上と関係が深い
という理由からだ。しかし
、その代わり、「後援
祭」などの全体行事で
立食パーティーを行うニ
とに決定した。また、ク
ラスの発表では、学年ご
とに部門を設けて、各部

反情は
或兵の星い
植物である

門別に賣か与えられる
とになりそうだ。

今までも不成立のままであつた我々校の自治会執行部。これまでの状態では、自治会としての仕事はできない。その打開策として次の二つの策を挙げられていた。

有意義に活用

五月も中旬、
そろそろ学期初
めの緊張感も薄
らいで来た頃だ
ろう。それに思
い方面で表われてきた
服装の乱れや不要な
物を持っ

とにして
 もその義
 われたらう。しかし服
 装についてはある程度
 規制されてゐるが、持
 ち物に關しては意外に
 規制されてゐないよう
 に思う。
 一部の者は、ゲーム

思義に活用
 ばい物を持つて来るの
 は道理に合わない。
 そうは言つても、休
 み時間に友達とゲーム
 で遊んだり、雑誌を見
 るのは別段ひまはない
 と思う。ただ、けじめ

つては時間を無駄にす
 るだけの道具になつて
 しまふ。それらで自
 分のためになる様に
 上手に使い方を考える
 べきだ。

使ひ方によ
 らゆる物も

や難読は、授業に不必
 要と思われる物を愛校
 に持つて来てゐる。高
 級生が持つてゐなけれ
 ばならぬ教科書やノ
 ートとロツカーには舞
 い込み、授業に關係の
 一つに、授業中に持
 ち込めば話ば別である
 他人の勉強を妨ける。
 遊んでゐる本人も当然
 勉強すべき時間を無駄
 にするわけだ。
 学校で楽しく過ごそ
 うとして持つ

中間考査

中間考查

針灸

身体のはかで一番大切な部分といえは頭であろう。人間は笑ふことのできる唯一の動物だという。「人間は万物の霊長」といわれるのも、頭が感情の源であるからだ。▼人の上に立つて指導する者も亦来より「頭(かしら)」というのもこれから来ている。「頭が動かねば尾が動かぬ」という諺のよう。に、何事も「頭」が肝心なのである。▼我が阿倍高の「頭」はというと、執行部がこれにあたるのだ。か、というわけか未だ不在である。人間にたとえていうばら「首なし人間」とでもいおうか。▼しかし今まで不治の病であったものが、急に治療の道が開けた。立候補希望者が出たのだ。三日以来、執行部不在に明るい光がさして来た。▼十五日の議会で選挙管理委員が選出された。残る課題は執行部の成立である。「首なし人間」に首がつく日も遠くはないだろう。しかし、首がついたとしても故の木阿倍赤にならぬよ

